

呉羽丘陵 手入れに汗

倶楽部 きんたろう

竹伐採 堆肥作り

富山市の森林保全ボランティア組織「きんたろう倶楽部」は28日、同市ファミリーパーク（同市古沢）の見晴らし広場付近で竹林整備を行った。呉羽丘陵の荒廃を防ぐため、竹林を広葉樹林に再生させようと、15人の会員が約100本の竹を伐採した。



広葉樹林再生を目指して竹を伐採する会員

呉羽丘陵は全体の約3分の1が竹林になっており、面積が徐々に広がっている。1カ月で15以上も伸びる竹は日光を遮り、丘陵の荒廃を招く

恐れがあるため、倶楽部の会員らが毎年、竹林の整備を行っている。

3年前からは、伐採した竹を堆肥として有効活用する実験にも取り組んでいる。この日は、切った竹を砕く機械で約2トンのチップを作った。

参加した富山市の光地広太郎さん(60)は「竹やぶを少しでもきれいにし、気持ちよく歩けるような山にしたい」、同倶楽部の吉山貴男事務局長は「竹やぶの整備に関心をもち、山を手入れする人が増えればうれしい」と話した。

作業は30日まで行われる。最終日には竹のチップに専用の薬剤を混ぜ、堆肥作りを始める。各会員が家庭に持ち帰り、栽培している野菜や果樹の堆肥として使ってもら

K.6.29
2014年11月6日(月)

富山市の森林保全ボランティア組織「きんたろう倶楽部」は28日、同市ファミリーパーク（同市古沢）の見晴らし広場付近で竹林整備を行った。

富山市の森林保全ボランティア組織「きんたろう倶楽部」は28日、同市ファミリーパーク（同市古沢）の見晴らし広場付近で竹林整備を行った。

富山市の森林保全ボランティア組織「きんたろう倶楽部」は28日、同市ファミリーパーク（同市古沢）の見晴らし広場付近で竹林整備を行った。

富山市の森林保全ボランティア組織「きんたろう倶楽部」は28日、同市ファミリーパーク（同市古沢）の見晴らし広場付近で竹林整備を行った。